

県
議会議員

おおたけりえ



県政レポート vol.30

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

洪水ハザードマップの確認を

暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。異常気象による暑さとともに心配されるのが、豪雨対策です。近年、豊川市内においても豪雨の際の浸水被害が増えており、備えておくことが必要です。愛知県では、「マップあいち」でハザードマップを公表しております。国交省のハザードマップポータルサイトも使いやすいです。ご自分のお住まいの地域が浸水する可能性があるのか確認して頂き、いざというときの避難場所も併せてご確認ください。さて、今議会では、本会議で登壇して地域課題を取り上げました。ぜひご意見等、事務所（☎0533-80-1055）までお寄せ下さい。



国交省ハザードマップポータルサイト↑

県議会本会議にて、ICT 教育格差是正を取り上げました



機器やネットワーク整備、授業やその他の場面における ICT 機器の効果的な活用について、県内でも、地域間格差が生じ始めている。県として、市町村間の ICT 教育格差解消のため、どのように取り組むのか。

2020年3月から、県教育委員会と県内全市町村教育委員会の ICT 教育担当者を構成員とする「GIGA スクール構想共同研究会」を設置し、各市町村における ICT 教育環境の整備状況や県内小中学校の先進的な活用事例など情報共有を行っている。県教育委員会としては、急速に1人1台端末の整備が進んだため、その活用状況には市町村ごとに差があることを認識している。今後は、ICT 機器を活用した授業の様子をオンラインで配信するなど、より多くの教員が実際の活用場面を見られるようにすることで、指導力や活用力の底上げを図り、全ての小中学校で ICT 機器を活用した教育の水準が向上するよう、取り組んでいく。



県議会本会議一般質問



プログラミングの授業をクリエイティブなものにするため、外部の専門性の高い方や外部委託等、民間の力を積極的に活用すべきでは。

プログラミング授業に民間の力を活用することについて、より専門的で高度な内容の授業を行うためには、優れた知識・技術を持った専門家やプログラミング学習ツールなどを活用することも効果的と考えている。こうした民間の力を積極的に活用し、学校におけるプログラミング教育の充実を図っていく。



今議会で、国に対して ICT 教育支援を求める意見書も全会一致で可決成立しました！

愛知県議会議員おおたけりえ Profile

詳しくは HP をご覧ください。→

好きな言葉は、「先憂後楽（せんゆうこうらく 意味：政治を行う者は、人々が憂うより先に憂い、人々が楽しんでから遅れて楽しむ、という心構えの在り方を説いた言葉）。得意科目は社会、苦手科目は体育（好きですが下手です）。



物価高騰対策等の補正予算が成立しました



169億9033万円の補正予算が成立、内容についてご報告致します（QRコードから詳細情報にアクセスして頂けます）。ご不明な点等ございましたら、愛知県ホームページをご確認頂くか、おたけりえ事務所（☎0533-80-1055）までお問い合わせください。

1 県内で避難生活を送る ウクライナの方々の支援

ロシアによるウクライナ侵攻により、日本への避難を余儀なくされたウクライナ避難民の方々が、安心して生活できるよう、生活一時金の支給・日本語学習の支援・寄附物品の配送等を支援。その財源として活用するため、広く寄附を募集します（詳しくは愛知県HPか、「さとふる」をご覧ください）。

2587万円



↓ご寄附はこちらから↓



☆愛知県HP↑ ☆さとふるHP↑

2 学校・保育所等の給食費支援

7億5791万円



民間保育所等・県立学校・私立学校給食食材費等について、価格高騰によるかかり増し費用を補助（1人あたり1食40円）。幼稚園等私立学校のスクールバス燃料費の増額分を補助（バス1台あたり12,000円/月）。期間：2022年4～9月。

3 高等学校奨学給付金の拡充

9569万円

物価高騰に対応するため、奨学給付金支給額に5,000円を加算して支給。（対象：生活保護世帯・県民税及び市町村民税所得割額が非課税の世帯、家計急変により県民税及び市町村民税所得割額が非課税と認められる世帯）。



（問合先：県教育委員会高等学校教育課 ☎052-954-6785、県私学振興室 ☎052-954-7477）

☆県立高校↑ ☆私立高校↑

4 子ども食堂の活動支援

3009万円



県内で子ども食堂の運営を行う団体（既設293か所）に対し、消毒液・マスク等の衛生用品、空気清浄機等の購入に要する経費を補助率10/10で1か所あたり上限10万円を補助。



☆子ども食堂マップ↓

5 ヤングケアラーの支援の充実

2145万円



今年3月に公表した「愛知県ヤングケアラー実態調査」を踏まえ、適切な支援ができるよう市町村モデル事業や子ども向け啓発事業を実施。



☆相談窓口など愛知県HP↑

6 中小企業者へ資金繰り支援

14億7373万円

（既決2億7891万円→補正後17億5265万円）

売上原価の上昇により収益が悪化している中小企業者を対象とした融資制度「経済環境適応資金・サポート資金（経済対策特別）」に、県が信用保証料を補助する「原油・原材料高緊急対応枠」を設け、資金繰り支援を強化する。

☆愛知県HP↓



7 燃油高騰社会福祉・医療機関支援

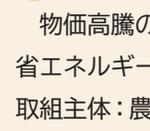
11億1644万円



物価高騰の影響を受ける社会福祉施設・医療機関に対し、サービス提供のために使用する車両の燃料費を支援（交付額：通所系サービス事業所18,000円、通所系サービス事業所以外11,000円、保育所・こども園・地域型保育事業所7,200円、透析患者送迎医療機関5,000円、訪問診療医療機関11,000円）。期間：2022年4～9月。

8 施設園芸省エネルギー化支援

1億2060万円



物価高騰の影響を受ける施設園芸農家に対し、省エネルギー化が可能な施設・設備の導入を支援。取組主体：農業者・農業者の組織する団体。品目：産地戦略を策定した品目。補助対象：燃油使用料の15%以上削減する活動計画を策定した施設・設備。補助率：1/3以内。

9 燃油高騰農林漁業者支援

37億1465万円



物価高騰の影響を受ける食肉流通センター、漁業・養殖業・林業・乾燥施設を有する木材加工業者に燃油価格と基準価格の差額の1/2以内、畜産農家は配合飼料価格と基準価格の差額の1/2以内を補助。

10 商店街の支援を拡大

8985万円

（既決5億3700万円→補正後6億2685万円）

市町村が商店街の活性化に向けて実施するプレミアム商品券発行事業に対する支援を拡大。県内34市町村、補助率1/2。



11 燃油高騰公共交通事業者支援

22億3174万円



燃油価格高騰の影響を受け、厳しい状況にある公共交通事業者に対し、運行継続のための支援金を交付。対象：バス、鉄軌道、タクシー、定期航路貨物自動車運送事業者。期間：2022年4～9月。

市内の主要なインフラ整備状況をご報告



インフラの進捗状況については、毎年お問い合わせの多いところですので、今年度のおもな工事の状況について、ご報告いたします。



国道 23 号蒲郡バイパス

国土交通省中部地方整備局
名四国道事務所HP→

豊川為当 IC ~ 蒲郡 IC 区間が唯一の未開通区間。今年度は、金野地区において改良工事や橋梁下部工事、広石地区等において橋梁上部工事を推進します。また、トンネル区間においてトンネル設備工事を実施します。(※開通見込みについては、昨年 の 記 者 発 表 で、 令 和 6 年 度 に 全 線 開 通 予 定 と 公 表 さ れ て い ま す。)



国道23号蒲郡バイパス工事箇所

東三河環状線

大崎工区は、昨年度末で用地買収率が9割強(97%)。現在、県道千万町豊川線の西側約1.6kmの区間は今年度開通予定。残る約0.1kmは用地取得を進めます。三蔵子工区は昨年度末で用地買収率が約9割(94%)。用地買収と、二級河川佐奈川を渡る橋梁の下部工を進めます。石巻本町・当古工区については、豊橋市側は用地買収と、埋蔵文化財の調査を実施します。豊川市側は、用地測量と、豊川を渡る橋梁設計や河川管理者との協議を進めております。大崎工区の東側、国道1号線までの延長約2.7kmの野口工区については、暫定2車線で供用済みですが、道路ネットワークをさらに強化するため、今年度から4車線化事業を進めていきます。



東三河環状線(大崎工区)工事箇所



東三河環状線(三蔵子工区)工事箇所

151号一宮バイパス

1工区は現在、約9割の用地を確保。今年度は、引き続き用地買収に取り組むとともに、帯川橋梁の上部工事、JR飯田線の跨線橋前後区間の上部架設工事等を進めてまいります。また、一部区域が埋蔵文化財包蔵地でありますので埋蔵文化財の本発掘調査も行っております。2工区は、今年度は豊川市内につきましては、引き続き用地測量を進めるとともに、その他区間では公安委員会の協議や設計を行う予定です。また、新城市内につきましては、用地買収に着手する予定です。



151号一宮バイパス工事箇所

県道豊川蒲郡線(御津町23号線工事地区近く)

昨年度は、現道拡幅区間では、インターアクセス区間より東側が完了し、バイパス整備区間では、準用河川御津川を渡る2つの橋梁の内、東側橋梁の下部工事を行い、インターアクセス区間では、ICアクセス橋の上部工事を発注しました。今年度は、現道拡幅区間の残工事、バイパス整備区間の東側橋梁上部工事や道路築造工、及びインターアクセス橋の上部工事等を進めて参ります。国道23号蒲郡バイパスの2024年度の開通予定に合わせ、国土交通省との工事調整を図りながら工事を進めています。



豊川蒲郡線工事箇所



豊川蒲郡線工事箇所

姫街道アンダー道路(宮地病院近く)

JR東海とアンダー部分の調査設計に関する協定を締結予定。事業化に向けた公安協議を継続するとともに、迂回路に係る施工計画、排水計画等の設計委託を実施予定。



宮下立体工事箇所

151号宮下立体(五社稲荷近く)

小坂井跨線橋拡幅のためのランプ上部工事に着手予定。国道1号線北側の部分では、1号線を跨ぐ橋梁の下部工事に着手するため、現道の切替工事を実施中。

姫街道八幡工区(ケンタッキー近く)

昨年度の繰越工事を継続実施中。この工事で行う用水路の付け替えは、稲作が終わった後に実施するため、完了が年末頃となる見込み。水路付け替え後、本年度の完了を目標に、残りの車道舗装の工事を行う予定。次はこれより西の八幡西工区の4車線化に着手。工区全体の設計、公安協議を行う予定。

～愛知県議会本会議・一般質問で取り上げました～

男女賃金格差・子どもの居場所支援



男女賃金格差解消に向けて、特に中小企業について、県の積極的な取り組みを。

県の答弁

県では、同一賃金や公正な待遇の確保などをテーマに労働講座を開催。啓発冊子等で理解促進を図っている。また、個々の企業に社会保険労務士を派遣し、就業規則や賃金規定等の整備を支援するとともに、あいち労働総合支援フロアや県民事務所において、労働相談に対応。

国の制度改正により、301人以上の企業は男女間賃金格差の公表が義務付けられる予定。県内企業に対し公表に向けた準備を行うよう周知する。また、「あいち女性輝きカンパニー」の認証における項目の一つに、男女間賃金格差解消を促す項目を新たに加えていくことも検討する。



校内フリースクールを各学校に設置できるよう、教員と支援員を県で追加配置する考えは。

県の答弁

不登校など課題を抱えた児童生徒を支援するため、「児童生徒支援教員」を市町村に配置しており、岡崎市（「F組」）でもこの教員を活用している。校内フリースクールは、教室に入りづらくなった子どもに、教室とは別の場所で過ごせるという安心感を与える効果があるなど、意義ある取り組み。担当教員及び支援員については、県単独での措置はなかなか難しいが、全国共通の課題であるので、他県とも連携し国に教員の定数増や支援員に対する補助制度の拡充を働きかけていく。



●愛知県内の不登校数（①）

●学校以外の居場所（②③）に行けている児童生徒数

	小学生	中学生	合計
①不登校	4,366 (2,724)	8,897 (7,725)	13,263 (10,449)
②適応指導教室に通学	315 (202)	808 (825)	1,123 (1,027)
③フリースクール等に通学	138 (57)	121 (70)	259 (127)
②③にも通えていない ①-②-③	3,913 (2,465)	7,968 (6,830)	11,881 (9,285)

令和2年度数値 文科省調査より
()内は平成29年度数値



不登校になったときに保護者が必要とする情報を、ポータルサイトやパンフレット等わかりやすく提供する考えは。

県の答弁

不登校児童生徒の保護者は、学校に行けないことに不安や焦燥感、孤独感を抱く場合も多い。そのような時に、学校以外の相談先や学びを継続する方法、進路に関する適切な情報を提供することは、状況を改善する手掛かりになると考える。必要な情報をわかりやすく提供する方法について、検討していく。



「学校・フリースクール等連携協議会」を開催し、連携体制を充実することや、出席扱いになる施設への助成や保護者への利用料補助等、経済的支援の考えは。

県の答弁

民間施設であるフリースクール等は、現在、不登校の児童生徒の居場所の一つとなっている。学校関係者とフリースクール等の関係者が意見や情報を交換する場を設けることは、児童生徒の学びを支援する上で、有意義と考えている。具体的な方法について検討していく。また、経済的支援について、どのような条件の下でどのような支援が可能であるかなど、研究していく。

オンライン議会報告を実施しました！

私が所属する「新政あいち県議団（32名在籍）」では、議会ごとにオンライン配信での議会報告会を行っております。今回は私も出演致しました。

皆さまにとって、少しでも身近な議会となるように、あの手この手で取り組んでまいります！ぜひご覧ください。

YouTube「新政あいち県議団」チャンネル登録をお願いします！



新政あいち県議団 Facebook ↓



ご意見・ご感想などをお寄せください ●ホームページ—— <http://www.ootakerie.jp>

●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞5-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

